

転写厳禁

第6回 Vectorworks 操作技能マスター認定試験

筆記試験問題（抜粋）

出題概要

- 試験問題および解答用紙は Windows、Macintosh 共通です。
- 問題文の挿絵は、Vectorworks Designer with Renderworks 2014J を使用しております。
- 制限時間は 60 分です。
- 問題は 5 部門で構成されています。
- 各部門の過半数以上が正解、かつ全体で概ね 7割以上の正解を合格とします。**
- 各部門の問題数は以下の通りです。答えは全て解答用紙に記入してください。

部門	問題数	配点	合格基準
Vectorworks Fundamentals 環境部門	4問	15点	8点以上
Vectorworks Fundamentals 基本部門	17問	65点	33点以上
Vectorworks Fundamentals 活用部門	3問	5点	3点以上
Vectorworks Designer 部門	2問	5点	3点以上
Renderworks 部門	3問	10点	5点以上
全体		100点	概ね 70点以上

以下、必ずご記入ください

受験会場 東京 大阪

受験番号 VWM06-141025-

受験者氏名

認定試験実施機関

Vectorworks 日本語版総販売元 エーアンドエー株式会社

Q 2

各 1 点 (3 点)

デザインレイヤの縮尺についての説明です。正しい説明には○印を、間違った説明には×印を記入してください。

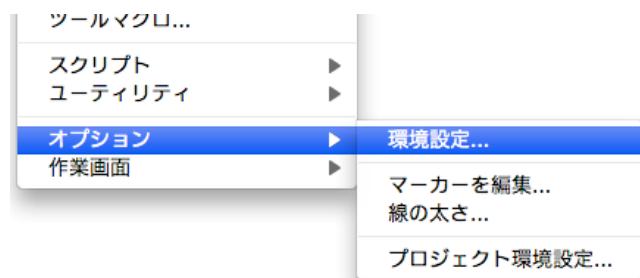
1. デザインレイヤごとに異なった縮尺を設定することができる
2. スケールテキストにチェックが入っている場合、文字の大きさも縮尺に追従して表示される
3. 縮尺を変更した場合、図形につけた模様も縮尺に追従して表示される

1	2	3

Q 4

各 1 点 (4 点)

環境設定についての説明です。設定できる説明には○印、設定できない説明には×印を記入してください。



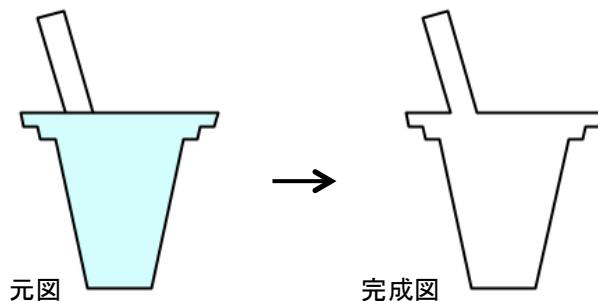
1. 拘束マークを表示／非表示の設定
2. 作図画面の背景色を黒にする設定
3. ミリメートル、インチなどの単位設定
4. 図形の強調表示の色の設定変更

1	2	3	4

Q 3

各 1 点 (4 点)

元図から完成図にする説明です。正しい説明には○印を、間違った説明には×印を記入してください。なお、元図は2つの図形が重なって配置されているものとします。



1. 2図形を選択し、貼り合わせコマンドを選択
2. 多角形ツールの境界の外側指定モードで2図形全体を囲む
3. 2図形を選択し、合成コマンドで2図形が重なった部分をマウスで指示
4. 2図形を選択し、消しゴムツールの四角形モードで不要箇所を削除

1	2	3	4

Q 4

各 1 点 (4 点)

直線を作成する手順の説明です。語群より記号を選び文章を完成させてください。

直線ツールを選択し、始点をマウスクリックで指定します。（ 1 ）キーを押し、（ 2 ）の項目で長さの指定。（ 3 ）の項目で角度を指定し、マウスクリックまたは（ 4 ）キーで方向を指定し確定します。

語群： ア、 shift イ、 Ctrl (control) ウ、 Enter (return) エ、 TAB (tab)
 オ、 L カ、 Δ X キ、 Δ Y ク、 A

1	2	3	4

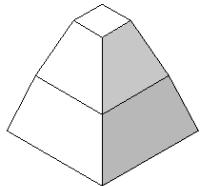
Q14

各1点（4点）

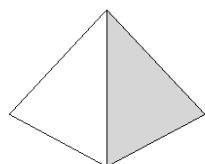
以下の図形のうち、多段柱状体コマンドで作成できるものは○印を、できないものには×印を記入してください。

モデル作成後に編集は行っていないものとします。

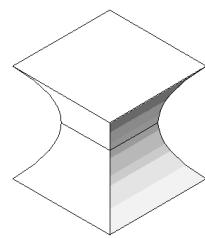
1



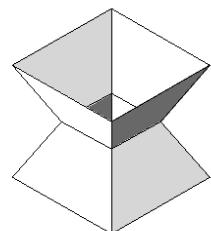
2



3



4

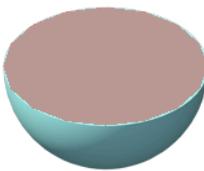


1	2	3	4

Q16

1点

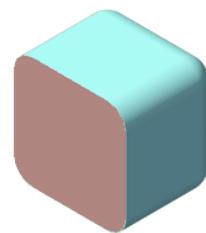
以下の図形のうち、 シェルソリッドツールで面を選択（赤く表示されている面）した場合、成形（かたちを変えること）ができない図形を以下1～4の中から1つ選択し○印を記入してください。



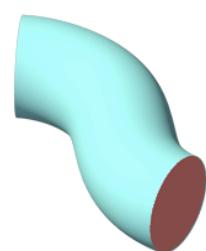
1. 半球



2. 球体



3. フィレット図形



4. 3Dパス図形

1	2	3	4

Fundamentals 活用部門

配点 5 点

Q 2

1 点

DXF ファイルを取り込んだ際に、実際の寸法よりも 2 倍に図面が取り込まれてしまいました。対処の方法として正しい対処方法を 1 ~ 3 より 1 つ選択し、○印を記入してください。

1. 取り込み後にレイヤの縮尺を倍に設定した(例: 1/100 を 1/50 に設定)
2. 取り込み時のカスタム設定にて、モデル空間の単位をカスタムにし、2DXF 単位=1mm と設定した
3. 取り込み時のカスタム設定にて、モデル空間の縮尺ボタンから全レイヤオプションを有効にした

1	2	3
---	---	---

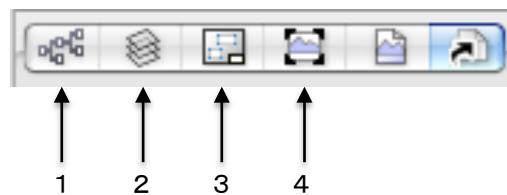
Designer 部門

配点 5 点

Q 1

各 1 点 (4 点)

以下の図はナビゲーションパレットのタブのアイコン表示です。1 ~ 4 のボタンのアイコンの名称をア～オより選択してください。



1 2 3 4

ア、登録画面 イ、ビューポート ウ、デザインレイヤ エ、シートレイヤ オ、クラス

1	2	3	4

A 図

B 図

Q 2

各 1 点 (4 点)

以下は Renderworks の説明です。正しい説明には○印、間違った説明には×印を記入してください。

1. レンダーカメラの編集設定は、データパレットの他にビジュアライズパレットの編集からもおこなえる
2. 点光源の明るさの設定は%の他、ルーメン、カンデラで数値として明度の指定ができる
3. 3D多角形の1つの面に複数のテクスチャを設定できる
4. レンダービットマップツールでのレンダリングモードは OpenGL のみである

1	2	3	4

第6回 Vectorworks 操作技能マスター認定試験 答

受験会場	<input type="checkbox"/> 東京 <input type="checkbox"/> 大阪	受験者氏名
受験番号	VWM 0 6 - 1 4 1 0 2 5 -	

Fundamentals 環境部門

／15点

Q 1			
1	2	3	4

Q 2		
1	2	3

Q 3			
1	2	3	4

Q 4			
1	2	3	4

Fundamentals 基本部門

／65点

Q 1			
1	2	3	4

Q 2			
1	2	3	4

Q 3			
A	B	C	D

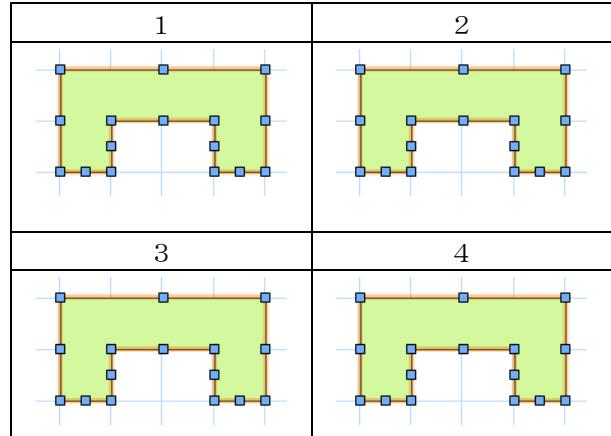
Q 4			
1	2	3	4

Q 5				
1	2	3	4	5

Q 6				
1	2	3	4	5

Q 7

各 1 点(4 点)



Q 8

各 1 点(4 点)

1	2	3	4

Q 9

各 1 点(4 点)

1	2	3	4

Q 1 0

各 1 点(4 点)

1	2	3	4

Q 1 1

各 1 点(4 点)

1	2	3	4

Q 1 2

各 1 点(4 点)

1	2	3	4

Q 1 3

各 1 点(3 点)

1	2	3

Q 1 4

各 1 点(4 点)

1	2	3	4

裏面にも記入欄があります

Q 1 5 各 1 点(5点)

1	2	3	4	5

Q 1 6 1 点

1	2	3	4

Q 1 7 各 1 点(4点)

1	2	3	4

Fundamentals 活用部門

／5点

Q 1 各 1 点(3点)

1	2	3

Q 2 1 点

1	2	3

Q 3 1 点

1	2	3

Designer 部門

／5点

Q 1 各 1 点(4点)

1	2	3	4

Q 2 1 点

1	2	3	4

Renderworks 部門

／10点

Q 1 各 1 点(4点)

1	2	3	4

Q 2 各 1 点(4点)

1	2	3	4

Q 3 各 1 点(2点)

1	2	3	4